

Jan.2010

素顔の阿蘇を探す旅。

“あ”はすべての原点、“そ”は蘇生。
阿蘇は原点に返って復活する場所。
素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。

大陸

ASO Continent



素顔の阿蘇を もつと知つてください

『阿蘇ゆるっと博』の3ヶ月

ゆるつと過ごして欲しい。

歩いて、立ち止まって、出会う地元の人々とおしゃべりをして、普段着の阿蘇をもつともつと知つて欲しい。

それが、「阿蘇ゆるつと博」に込められた思い。

阿蘇人の熱い思いが結実した、この秋の3カ月間に行われたイベントを追った。



音楽を、自由に、気軽に

歌声が、楽器の音が、大きな大きな阿蘇の青空に吸い込まれていく。10月4日に阿蘇市乙姫で行われたコンサートでは、渡辺真知子さんや因幡晃さんのステージほか、弦楽器のアンサンブル、阿蘇少年少女合唱団なども登場し、会場を盛り上げた。

会場では、観客がステージ前の広場で食事をしたり寝そべったりしている光景が目に入る。ヨチヨチと走り回る子どもを追いかけるお母さんの姿も。『阿蘇音楽大陸～音旅～』の企画構成を担当した寺嶋民哉さんは、阿蘇郡南小国町の出身だ。「阿蘇という開放的な場所で楽しむ音楽だから、自由に過ごしてもらっていいんです」。その思いが、好きなスタイルでのんびりと音楽を味わう観客の姿になった。



寺嶋 民哉 さん

幼い頃、南小国の川や田んぼに囲まれてオーケストラ音楽を聴いていたという寺嶋さん。「阿蘇で聴く壮大な音楽。それが自分の原点になっています」。2004年度映画『半落ち』にて日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。日本音楽著作権協会正会員。日本作編曲家協会理事。



阿蘇
音楽大陸

・ 音楽が魅せる阿蘇 『阿蘇音楽大陸～音旅（おんたび）～』

2011年の九州新幹線全線開業に合わせ開催が予定されている『阿蘇カルデラツーリズム博覧会（愛称・阿蘇ゆるつと博）』。今年の『阿蘇ゆるつと博』はそのプレイベントとして開催され、阿蘇の各地域を“パビリオン”として魅力を紹介したほか、多彩な催しで旅人をもてなした。その中の一つ『阿蘇音楽大

陸～音旅～』は、音楽を、阿蘇の自然や文化、暮らしに融合させることで、旅人に阿蘇の魅力をより深く印象づけてもらいたいと開催。1月初旬の3日間を通して、作曲・編曲家の寺嶋民哉氏が企画構成を担当し、阿蘇神社での“音楽奉納”やコンサートが行われた。「いずれは、商店街や集落の辻、農家の軒下など、い

つもどこかで生の音楽が流れているような阿蘇の新しい旅のカタチを創りたいと考えています」と語るのは、阿蘇地域振興デザインセンターの坂元英俊事務局長。いろいろなアーティストが奏でる多彩な音楽が、今までとは一味違う阿蘇の表情に気付かせてくれることだろう。

妙なる調べを神様へ

音旅初日に、阿蘇神社で行われた音楽奉納。日本三大楼門の一つに数えられる阿蘇神社の鳥居下をステージに、アンサンブル演奏、『火の国旅情』や『坊がつる讃歌』などの歌が披露された。



● 60回を超えるツアーを開催
阿蘇市『阿蘇市をさるこう!』



単なる観光では味わえない、地元の暮らし、味、文化、人情。その魅力を満喫させてくれるのが、『阿蘇市をさるこう!』と題した散策・体験ツアーだ。平成17年度から、NPO法人ASO田園空間

博物館と阿蘇市内各地域住民が地域資源の掘り起こし作業を開始。平成19年度から本格的にツアーが始まり、これまでに開催数は60回を超えている。「田空の役割は、あくまでお手伝い」と語るのは、ASO田園空間博物館の小嶋龍也事務局長。「主役は地域住民。ツアー受け入れは住民にはひと仕事ですが、地域の活性化につながるし、打ち合わせや準備作業で、住民同士のつながりができるていきます。開催側と参加側、両方に楽しんでもらうのが目的です」。今年の『阿蘇ゆるつと博』期間中にも数々のツアーが開催され、多くの人が秋の阿蘇市を満喫した。



秋の阿蘇路を歩く散策ツアー



ASO 田園空間博物館の
小嶋龍也事務局長

住民とともに五穀豊穣を願って



一行は、高冷地で育つおいしい大根の収穫や散策の後、横堀区の祭りに参加。神楽と住民手作りの料理を堪能した。「接待は大変ですが、地区住民が気持ちを合わせて一致団結してお迎えしています」と横堀区の岩瀬国興区長。「ほら、座って食べていいって！」と女性陣も笑顔で促してくれる。地区住民と旧知の間柄のように語らい笑う声が、澄んだ秋の青空に吸い込まれていった。

きらびやかな衣装をまとった天狗が、天高くそびえる竹にするすると登ると大きな歓声がわいた。阿蘇市波野の横堀区に伝わる横堀岩戸神楽は、毎年11月3日に行われる家内安全と五穀豊穫を祈願する地区的祭りで演じられる。激しい迫力ある舞が特徴だ。この日開催された『紅葉の秋！波野で横堀岩戸神楽鑑賞と大根収穫体験』ツアー



● 南阿蘇の懐深く入り込む
南阿蘇村『みなみあそくらしめぐり』



村民宅に招かれてそば打ち体験

今年で3年目を迎えた南阿蘇村『みなみあそくらしめぐり』。『阿蘇ゆるっと博』開催期間も、毎週末、各地で散策・体験ツアーや実施した。8年前から、地元をガイド付きで歩く散策ツアーやつて形になつてきました。阿蘇には5万人の人が暮らす、その生活と融合した独特の自然があります。そんな阿蘇のファンを作りたくて、みんなでがんば

みなみあそくらしめぐり
実行委員会の梶原宏之さん

つています」。参加者が楽しく健康になること、地元の人も楽しめること、地元に落ちるお金が環境保護につながること。その3つが目標だ。今後は、隣接する宮崎県五ヶ瀬町や高千穂町ともつながりを作り、より多くの人に南阿蘇村の魅力を伝えていきたいという。

つています」。参加者が楽しく健康になること、地元の人も楽しめること、地元に落ちるお金が環境保護につながること。その3つが目標だ。今後は、隣接する宮崎県五ヶ瀬町や高千穂町ともつながりを作り、より多くの人に南阿蘇村の魅力を伝えていきたいという。

まるで親戚のように温かく



「地元の小さな道を歩くのは、村へ訪れた人たちにはちょっと遠慮があるでしょう。こんな風に案内してもらえるのは、本当にうれしいですよね」。参加者からそんな声が聞かれたのは、11月1日開催の『井手流れる稻作遺跡の里』コース。あいにくの雨だったが、田畠を潤す水路や堰を見ながら歩く途中に、柿ちぎりのおまけ付き。みなその場で皮ごとかぶりつく。散策後は、なんと参加者全員が一般の村民宅へ招かれ、そば打ち体験と手作りの昼食に舌鼓を打った。初めて出会った人々を、親戚のように温かく迎えてくれた地元の方々。家々の庭や畑でとれた柿、ゆず、ザクロ、大根という豪華なお土産まで持たせてくれた。雨にぬれても、心も体もポカポカだった。



高森町

・ 阿蘇の奥座敷の魅力を知る 高森町『うろんころん阿蘇たかもり』



高森町にある『南阿蘇ビターセンター』



蔵元の看板「酒林(さかばやし：杉の玉)」を前に



山村酒造の
山村唯夫社長

“れいざん”を造り続けている。「高森町には、味噌醤油の醸造元もあります。水がいいから高森にこういう生業がある。高森の良さを伝える仕事をたどる『阿蘇神話街道』の案内で活躍した。

日本酒の蔵元・山村酒造は、古くから、阿蘇外輪山が育む軟水を仕込み水とした銘酒立ち寄りどころのひとつ、

山村唯夫社長の言葉に頷く参加者たち。

「目的を果たすためスケジユールをしつかり立てて行くのが、旅行“なら、とりあえず行ってみて、さまよいながら気付いて、見つけて、感じて、味わうのが”旅“だと私は思うんですよ」と山村社長。そんな”さまよう“旅人の喜びも、小さな路地や民家の軒先で待つていてくれる地元の人との交流があつてこそ。素顔の阿蘇に触れる旅の一番の醍醐味はやはり、一生懸命もてなしてくれる地元の人たちの笑顔にほかならない。

たかもり秋の味まつり

『阿蘇ゆるっと博』期間中には、散策ツアーのほかにもさまざまなイベントが開催された。10月25日に開催された『たかもり秋の味まつり』では、地元でとれた新鮮野菜や高森田楽、高森町商工会女性部が作る高菜漬けを使ったクレープ風の惣菜『ふ菜焼き』などの新商品も登場した。



阿蘇市・南阿蘇村・高森町パビリオンMAP

広大な阿蘇には、個性豊かな地域がたくさんあります。2011年に開催される『阿蘇カルデラツーリズム博覧会（愛称：阿蘇ゆるっと博）』では、各地域を“パビリオン”（展示館）と位置付け、それぞれに伝わる自然や文化、食などの魅力を発信します。



阿蘇定期観光バス



世界最大級のカルテラ、草原で草を食む牛…まるで一枚の絵のような
ナイスビューをたっぷり楽しむバスの旅

大自然をギャラリーに見立て、車窓から様々な角度で満喫していただく、阿蘇の魅力がたっぷり詰まったバスツアーです。
(午前と午後の2コース、1日各1便ずつの運行)

『阿蘇谷コース』 樹齢 2000 年以上の巨木が鎮座するパワースポットも！

【コース時間：約 3 時間 10 分】

阿蘇駅前(9:00 出発)→内牧→大観峰→手野の名水→国造神社→中通古墳群→阿蘇神社→阿蘇駅前(12:00 着)→内牧(12:12 着)
*料金：1人 2,000 円 *定員：25 名(予約制)

『黒川・小国コース』 全国でも人気を誇る黒川温泉で湯巡りと散策を満喫！

【コース時間：約 5 時間】

阿蘇駅前(13:00 出発)→内牧→大観峰→黒川温泉→学びやの里→北里柴三郎記念館(水曜を除き観光)または坂本善三美術館(水曜のみ観光)
→下城大いちょう・滝→幸野川橋梁→瀬の本高原→内牧(17:44 着)→阿蘇駅前(17:56 着)
*料金：1人 3,500 円(入館料込み・黒川温泉入湯料は各自負担) *定員：25 名(予約制)

【問い合わせ】産交バス阿蘇営業所 TEL.0967-34-0211 受付時間 8:30 ~ 18:00 / 土・日曜、祝日 ~ 17:00

産交バス 1 日フリー乗車券

※一部区域除く

熊本全域、1 日中何度でも路線バスに乗れる！

熊本県内の利用可能エリア路線バスを 1 日 (0 時 ~ 25 時) 何回でも乗り降り可能なフリー乗車券。深夜バス (区間運賃が別途必要)、臨時バスも OK です。観光施設の入場料などが割引になる“施設利用割引券”付き。

【問い合わせ】産交バス サービスセンター TEL.096-325-0100 (営) 9:00 ~ 18:00

南阿蘇村各所を結ぶ便利なバス ゆるっとバス

列車とバスでまわって、のんびり歩いてさろく、南阿蘇のいいとこ
“ゆるっと”めぐり

「ゆるっと南阿蘇めぐり」の開催にあわせて、路線バス実証実験走行「ゆるっとバス」が運行スタート。村内各所の名所や観光施設、イベントへのアクセスにも便利です。

【運行期間】平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで

【運賃】最大区間(立野駅～高森駅間) 500 円

距離に応じて料金が変わります。

時刻表は、村内各主要観光施設、立野駅、高森駅等で配布。
また、南阿蘇村ホームページにも掲載しております。
<http://www.minamiaso-v.kumamoto-sgn.jp/>

【問い合わせ】南阿蘇村役場企画観光課 TEL.0967-67-2230



南阿蘇鉄道とゆるっとバスの
共通 1 日フリー乗車券。終日乗
り放題。村内観光施設等での割
引等の特典もあります。詳しく
は発売所にて。

【料金】大人 1,500 円 小人 750 円

【発売所】高森駅及びレールバス列車内、
産交バス高森営業所及び車内

(財)阿蘇地域振興デザインセンターホームページ <http://www.asodc.or.jp>

阿蘇の魅力を動画で配信！「阿蘇テレビ」 <http://www.aso-tv.com/>

阿蘇広域観光サイト「阿蘇ファンクラブ」 <http://www.asofan.net/>

ASO-NAVI
阿蘇ナビ
<http://www.asonavi.jp>



週末のお出かけはこれで決まり！ラジオ番組「ゆっくりのんびり ASO 大陸」(エフエム熊本) 毎週土曜日 12:30~13:00